みんなの SCHOOL LIBRARY

＊米里中学校図書館司書便り　2021年11月24日　　＊学校司書:松井　裕治

日に日に寒さが増し、冬の到来の近いことをひしひしと感じる今日この頃です。さて、今年度の学校図書館も開館して半年が過ぎました。これまで、多くの生徒の皆さんに図書館を利用してもらっていますが、今回は、たくさん借りられている、人気本をランキング形式で、お知らせしたいと思います。

【貸し出し回数の多い本ベスト5】

〔貸し出し回数No.1〕

No.1　「5分後に意外な結末ベストセレクション(白の巻)」〔桃戸ハル・編著／講談社文庫〕

・恐怖、感動、笑い、涙…そして最後にやってくる、だまされる快感。たった5分の中で起こるドラマが、日常をリフレッシュさせます。欧米の小ばなし、文豪の名作からの心なごむ感動話など、さまざまなジャンルの39話を収録しています。

No.2　「おもしろ大発見！ 世界スゴすぎ事典」〔須藤健一・監修／池田書店〕

No.3　「かがみの孤城」〔辻村深月・著／ポプラ社〕

No.4　「鬼滅の刃〈しあわせの花〉」〔吾峠呼世晴・著／集英社〕

No.5　「さらに ざんねんないきもの事典」〔今泉忠明・監修／高橋書店〕

※コミックでは「いじめ 心の中がのぞけたら」「ゴールデンカムイ」が人気です。

※昨年度の貸し出し回数が多かった本はノベライズ版「鬼滅の刃〈しあわせの花〉」「鬼滅の刃〈片羽の蝶〉」の2作品でした。鬼滅の刃の映画の大ヒットを裏付ける結果となっています。〈ノベライズ☛元々は小説ではないドラマやアニメを逆に小説化した本にすること〉

★☆★☆★☆〈司書の新着オススメ本コーナー〉★☆★☆★☆

『大人も知らない？ふしぎ現象事典・「ふしぎ現象」研究会・編／ヨシタケシンスケ・イラスト』

表紙裏と「はじめに」に書かれているPR文を一部引用して、内容を紹介します。☞『勉強している時、友だちと遊んでいる時、おこづかいをもらった時、「またこの現象？」と思ったことはありませんか？実は、その現象たちには名前があるのです。』

私たちの身の回りには「よくある」けど、名前を知らない現象がたくさんあります。大人でも知らないかもしれない「ふしぎ現象」の名前を、たくさん覚えて大人や友だちに教えてあげましょう。(例) ブーメラン効果、ゲシュタルト崩壊、カタルシス効果etc.